

講義コード	1116130002
講義名称	社会学B 02<秋> ※遠隔授業（オンデマンド型）
科目英文名	Sociology B
代表ナンバリングコード	0SOC1000
単位数	2.0
時間割	秋学期: 土曜日 3 時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名
長崎 励朗

授業形態	講義
------	----

講義・演習概要	[授業の目的・ねらい] この講義は共通教養としての社会学の基礎知識を習得していただくことを目的としているが、同時に介護福祉士資格の取得に必要な社会学科目としても提供される。社会学は家族から国際社会に至る種々の社会生活の場、そこに生じる諸問題、多様な文化現象などを対象としており、社会学を学ぶことによって、知識と視野を広げ多角的な視点を獲得しつつ、問題解決や意味解読の力を身につけることが可能となろう。講義は、介護福祉士の人間と社会に関する選択科目の出題基準に対応して進める。 社会学を学ぶことによって知識と視野を広げ多角的な視点を獲得しつつ問題解決や意味解読の力を身につけることが可能になる。 [授業全体の内容の概要] すでに200年近い歴史を持つ社会学には、これまでの多量な知識が蓄積されており、さらには現在も日々新たな認識が生産され社会学的知識として流通している。それらの大量な情報の中から、この講義では社会学の主要研究領域である「セクシュアリティ」「社会階層」「宗教」「都市」「エスニシティ」を取り上げる。これらの講義を通じて現代社会の諸相に関する理解を深める。
学習（到達）目標	[授業修了時の達成課題（到達目標）] 社会学を学ぶことによって知識と視野を広げ多角的な視点を獲得しつつ問題解決や意味解読の力を身につける。

講義・演習計画

回	内容
第1回	導入 社会学ってなんだろう シラバス、講義の進め方、評価の方法などの説明
第2回	戦後復興とツーリズム
第3回	文化の真正性について
第4回	アイデンティティとは何か
第5回	資本主義とは何か
第6回	男性学・女性学
第7回	障がいについて考える
第8回	人種と民族
第9回	環境保護について考える
第10回	水は誰のものか
第11回	家族について考える
第12回	結婚について考える
第13回	フェアトレードについて考える
第14回	コミュニケーションについて考える
第15回	まとめ

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	
レポート	90%
その他	10%

成績評価の方法（コメント）	主にレポートと授業への取り組みで評価する。
---------------	-----------------------

事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）	講義内で紹介した書籍を適宜読み込むこと。 半期の間に3冊から5冊は読了してほしい。
備考(管理者用)	（旧：社会学）02～19生読替☆SW・SD生のみ履修可能☆遠隔授業（オンデマンド型）

講義コード	1116430001
講義名称	法学B 01<秋> ※遠隔授業（オンデマンド型）
科目英文名	Law B
代表ナンバリングコード	0LAW1000
単位数	2.0
時間割	秋学期: 土曜日 4 時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名
楠本 敏之

授業形態	講義
------	----

講義・演習概要	社会生活を送っている以上、わたしたちは法と無縁でありえません。現代社会を生きるために、その基本的枠組みを理解し、とくに民主主義国家では、わたしたちがわたしたちのために法を作っているという観点から法の世界にふれていきます。課題をみつけその解決のための知識の習得とその活用を内容とする。法学Bでは、法学Aをやや発展させて、多面的・多角的な課題を扱います。
学習（到達）目標	1基礎的な法律知識をより確実に身につけ、法的な思考力を獲得する 2具体的な事例を通して、課題を解決するための多面的・多角的な力を身につける 3国際社会で主体的に生き、平和で民主的な国家及び社会の一員として生きるために必要な能力を養う

講義・演習計画

回	内容
第1回	ガイダンス（判例の意義等）
第2回	法学一般（法の体系、紛争解決と法など）
第3回	憲法①（人権）
第4回	憲法②（統治機構）
第5回	民法①（取引関係法①・様々な契約関連を中心に）
第6回	民法②（取引関係法②・不法行為）
第7回	民法③（家族関係法など）
第8回	刑法①（犯罪の成立要件など）
第9回	刑法②（犯罪の成立要件その他各論）
第10回	国際関係と法
第11回	企業活動と法
第12回	訴訟手続（民事・刑事）と法
第13回	労働と法
第14回	社会保障と法
第15回	まとめ

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	
レポート	100%
その他	

成績評価の方法 (コメント)	備考 学期末の2回のレポートのみで評価します（各50％）。ただ、毎回の授業に関し定められた形式でM-Portを通じて課題を提出することを義務とし、その提出が11回以上の者のみが成績評価の対象となります。
-------------------	---

参考文献	西村健一郎ほか『判例法学（第5版）』（有斐閣・2012）
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）	事前および事後学習の範囲については、講義日前までにM-Portで配信する授業資料により具体的に提示する。
備考(管理者用)	（旧：法学）02～19生読替☆SW・SD生は履修不可☆遠隔授業（オンデマンド型）

講義コード	1560830000
講義名称	国際政治事情研究B　＜秋＞　※遠隔授業（オンデマンド型）
科目英文名	International Affairs Analysis B
代表ナンバリングコード	POLS2440
単位数	2.0
時間割	秋学期: 土曜日 4 時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名
松村　昌廣

授業形態	講義
------	----

講義・演習概要	ビデオその他資料を活用して、全体としては初級レベル、時として中級レベルの講義内容になるよう講義を進めます。もっとも、ここでいう「初級レベル」というのは簡単という意味ではありません。高校レベルの知識、大学生としての社会科学の思考や基本的知識を習得していることを前提にしています。この講義により発展途上国を対象とする地域研究において政治、経済、社会の諸側面から、いかに総合的な分析に取り組むかを実例を示しながら学生の理解につなげることを目標としています。
学習（到達）目標	政治学、社会学、経済学など社会科学の基礎をよく理解した学生を念頭に講義を行います。つまり、高校の世界史、日本史、地理、政治経済、現代社会などの関連科目をしっかり学習してきたことを前提にしています。この講義では発展途上世界を比較分析に必要な基本的な発想、着眼点、分析手法を会得するためはじめに初歩的な理論的考察を行い、その後いくつかの重要なケーススタディーに取り組むます。しかし、広大な発展途上世界を全てカバーすることは不可能ですから、多様な理論の適用可能性、時事的重要性を考慮して、北朝鮮問題と中国問題を取り扱うこととします。

講義・演習計画

回	内容
第1回	国際関係論と地域研究
第2回	システム論的アプローチ　／　比較研究アプローチの危機・・・「理論の島々」
第3回	北朝鮮（1）朝鮮半島の戦略的位置付けと地理的要因
第4回	北朝鮮（2）朝鮮半島の歴史・・・戦争と平和の観点から
第5回	北朝鮮（3）北朝鮮の政治と社会
第6回	北朝鮮（4）北朝鮮の国際行動・・・不法活動を中心に
第7回	北朝鮮（5）北朝鮮と日本の関係・・・経済・金融関係を中心に
第8回	北朝鮮（6）日本の安全保障に与える影響
第9回	中国（1）中国大陸の地理と戦略環境
第10回	中国（2）中国の歴史・・・戦争と平和の観点から
第11回	中国（3）中国の近現代史・・・国内的混乱と国際関係
第12回	中国（4）中国の現状・・・社会的不均衡拡大と政治的安定性の問題
第13回	中国（5）日本の安全保障に与える影響
第14回	中国（6）まとめ
第15回	全体のまとめ・試験

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	
レポート	100%
その他	

成績評価の方法（コメント）	講師が設定した問題と手順で、受講生に講義で扱った内容を基に持ち帰りのレポート試験（2500字～3000字）の作成・提出を求めます。十分な時間（恐らく週末を含め7～10日以上）の期間を設定し、受講生が自分でとった講義ノートその他資料を見ながら、じっくり考えて作成できるようにします。
---------------	--

参考文献	随時、資料を提示する。
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）	松村昌廣『日米同盟と朝鮮半島』 芦書房 松村昌廣『米国覇権の凋落と日本の国防』 芦書房 松村昌廣『東アジア秩序と日本の安全保障戦略』 芦書房
備考(管理者用)	（旧：国際政治事情研究）02～19E・SS・SW・B・L・J生読替☆遠隔授業（オンデマンド型）

講義コード	1765240001
講義名称	日本文化史B 01<秋> ※遠隔授業（オンデマンド型）
科目英文名	Cultural History of Japan B
代表ナンバリングコード	CULT3430
単位数	2.0
時間割	秋学期: 土曜日 4 時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名
梅山 秀幸

授業形態	講義
------	----

講義・演習概要	『源氏物語』は「もののあはれ」を書いたものだと、本居宣長はいう。「もののあはれ」とは心の奥底の感情の動きだと考えていいが、原文を味わいながら、以後の日本人に影響を与えてきた美意識について考えていく。「色好み」は今の社会では悪徳だが、平安時代の貴族社会がつつかったセクシュアリテが鎌倉以降の武士社会で起こした相克、近松門左衛門の「妻敵討ち」などについても言及し、「姦通罪」なるものの存在した中で書かれた夏目漱石の『それから』の意味についても考えてみたい。主人公の流謫の生活を描く「須磨」「明石」の巻を読みたい
学習（到達）目標	活字以前、筆写された物語を読んでいた姫君たちの読書体験を追体験したいので、変体仮名のテキストを用いる。「安・以・宇・衣・於」を崩していけば「あ・い・う・え・お」になるわけだが、やや厄介なのは「あ」については、「阿」や「悪」や「愛」もあり、「い」については「伊」や「意」や「移」もあり、「う」については「憂」や「有」もあり・・・といったところ。慣れることで、近くの久保惣美術館に行けば、色紙や絵巻を見て立ち止まって読めるようにしたい。

講義・演習計画

回	内容
第1回	『古事記』の文章は読めるか？－日本語の文章を堂表記するか－
第2回	『万葉集』の表記について－万葉仮名について－
第3回	変体少女文字？－変体仮名の説明－『源氏物語』『須磨』を読む（1）－笄・杖・徒・流・死－
第4回	『源氏物語』『須磨』を読む（1）－笄・杖・徒・流・死、そして左遷－『源氏物語』『須磨』を読む（2）－地方官の生活－
第5回	『源氏物語』『須磨』を読む（2）－地方官の生活－『源氏物語』『須磨』を読む（3）－京都に残された女性 紫の上－
第6回	『源氏物語』『須磨』を読む（3）－京都に残された女性 紫の上－
第7回	『源氏物語』『須磨』を読む（4）－京都に残された女性 朧月夜－
第8回	『源氏物語』『須磨』を読む（5）－三月上巳の日－
第9回	『源氏物語』『明石』を読む（1）－荒天、落雷、火災－
第10回	『源氏物語』『明石』を読む（2）－父帝の幽霊の出現－
第11回	『源氏物語』『明石』を読む（3）－音楽をきっかけにして－
第12回	『源氏物語』『明石』を読む（4）－京都への召喚－
第13回	『源氏物語』『明石』を読む（5）－惜別、乳母、乳母子－
第14回	本居宣長の『源氏物語玉の小櫛』を読む－「もののあはれ」とは？
第15回	近松門左衛門の『堀川波鼓』と『鍵の権三重帷子』－妻敵討ちについて－

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	
レポート	70%
その他	30%

成績評価の方法（コメント）	毎回、授業に関わって簡単な課題を出します（300字前後）。それを「レポート」とします。「その他」はそのレポートの内容による＋αです。
---------------	--

参考文献	『源氏物語（二）』（岩波文庫）
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・ 事後学習 30 時間）	難解な原文については丁寧に解説するつもりですが、自分でもくりかえし読んで理解するようにしてください。
備考(管理者用)	（旧：日本文化史）02～17生読替☆遠隔授業（オンデマンド型）

講義コード	1121730000
講義名称	サステイナビリティ論　＜秋＞　※遠隔授業（オンデマンド型）
科目英文名	Sustainability Studies
代表ナンバリングコード	0SOC1420
単位数	2.0
時間割	秋学期: 土曜日 5 時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名
巖　圭介

授業形態	講義	アクティブラーニング	実務経験のある教員による授業①
			農水省の研究所で勤務経験のある教員が、その経験を活かして、温暖化や化学物質、水資源と、食糧問題を含む社会の持続可能性について講義する。

講義・演習概要	SDGs、持続可能な開発目標は、よりよい世界を作るために2030年までに達成すべき17の目標を掲げたものである。すべての目標は相互に関連しているが、その中でも環境問題の解決は多くの目標をつらぬく最重要課題の一つである。この講義では、地球環境の諸問題をいかに解決していくのか、その現状と展望、限界について解説する。姉妹科目である「環境問題概論」のいわば「解決編」として位置づけられる。できればこの授業の前に「環境問題概論」を受講することをお勧めします。 なお、この講義は完全オンデマンド型で行う。毎週公開される講義動画を視聴した上で、資料の空欄を埋めていき整理するほか、その都度出題される小テストや小課題等を翌週の期限までに回答し、また不定期に課される課題も期限内に提出することが求められる。課題については、身の回りのことを調査して回答する形式を予定している。質問や感想、リクエスト等にはM-Port上で随時回答する他、授業動画内でも取り上げていくことでできるだけ双方向性を確保していきます。
学習（到達）目標	主要な環境問題（気候変動、エネルギー問題、ゴミ問題、人工化学物質汚染、食糧問題）についてその問題の本質を理解した上で、問題解決に向けて今なされていること、なされるべきことを説明できるようになる。

講義・演習計画

回	内 容
第1回	イントロ：持続可能な開発目標SDGs
第2回	気候変動と持続可能性 1：現状と目標
第3回	気候変動と持続可能性 2：脱炭素への道
第4回	気候変動と持続可能性 3：続・脱炭素への道
第5回	気候変動と持続可能性 4：再生可能エネルギーをめぐる状況
第6回	気候変動と持続可能性 5：炭素に値段をつける
第7回	ゴミ問題と持続可能な消費 1：リサイクル法
第8回	ゴミ問題と持続可能な消費 2：LCA
第9回	ゴミ問題と持続可能な消費 3：循環型社会へ
第10回	化学物質汚染と持続可能性 1：農薬と化学肥料
第11回	化学物質汚染と持続可能性 2：リスク論
第12回	生物多様性の持続可能性
第13回	食料生産の持続可能性
第14回	変化する世界
第15回	まとめ：世界の持続可能性

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	62%
レポート	30%
その他	8%

成績評価の方法（コメント）	受講確認を兼ねた小テストや小課題を毎回M-Port機能を使って課す（提出期限は基本的に翌週の授業まで）。さらに期末には全範囲について理解度確認テストを行うので、毎回配布される資料の空欄をすべて埋めて整理しておくことを勧める。また気候変動とゴミ問題については簡単なレポートの作業課題を課す。 双方向性を確保するため、情報提供を歓迎する。内容に応じてボーナスポイントを付与する。
---------------	--

テキスト

	著者	タイトル	教科書購入区分	ISBN	出版社	備考
1.						使用しない

参考文献	環境省編『令和5年版 環境・循環型社会・生物多様性白書』（Web版）、東京商工会議所『ECO検定公式テキスト（改訂9版）』日本能率協会マネジメントセンター 2023、ロスリング他『FACTFULNESS (ファクトフルネス) 10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』日経BP 2019年、他、適宜紹介する。
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）	動画視聴の退屈を軽減するため穴埋め資料（Wordファイル）を用意するので、授業前にダウンロードしておき空欄を埋めながら視聴してもらい、随時疑問に思うことなどノートを取り、授業後に復習すること。期末のテストでは全範囲にわたる出題をするので、資料を完成させ整理しておくことが大切である。日常目にする環境関連のニュースなどをチェックし、常に情報をとりいれるとともに授業内容との関連などについて考え、必要に応じて質問や情報提供してほしい。
キーワード	環境問題、持続可能性、SDGs
備考(管理者用)	（旧： 環境問題概論）02～20生読替☆遠隔授業（オンデマンド型）